

2024年12月16日

日医工株式会社

中部電力ミライズ株式会社

「2024年度 省エネ大賞 省エネ事例部門 省エネルギーセンター会長賞」を受賞

日医工株式会社（本社：富山県富山市、代表取締役社長：岩本 紳吾）の子会社である日医工岐阜工場株式会社（本社：富山県富山市、代表取締役：岩本 紳吾、以下「日医工岐阜工場」）と中部電力ミライズ株式会社（代表取締役：神谷 泰範、以下「中部電力ミライズ」）は本日、共同で実施した「2016年から続く製薬工場全体での継続的な省エネルギーの取り組み」に関し、2024年度省エネ大賞（主催：一般財団法人省エネルギーセンター）の省エネ事例部門において、「省エネルギーセンター会長賞」を受賞しました。

「省エネ大賞」は、事業者や事業所などが実施した他者の模範となる優れた省エネルギーの取り組みや、省エネルギー性に優れた製品並びにビジネスモデルを表彰する制度です。

医薬品は生命関連製品であり、GMP（Good Manufacturing Practice）と呼ばれる厳密な製造管理・品質管理基準の下で製造されています。日医工岐阜工場と中部電力ミライズは、GMP遵守と省エネルギーの両立という製薬業界の課題解決に向け、多様な省エネルギーの取り組みを継続的に実施してまいりました。

具体的には、医薬品の製造工程で利用される蒸気・冷水・温水・圧縮空気のエネルギーの計測・データ分析に基づく供給設備の運用改善や、照明設備のLED化等により、2022年度には日医工岐阜工場から排出されるCO2排出量を36.7%削減（2016年度比）しました。これらの取り組み・成果が高く評価され、今回の受賞に至ったものと考えています。

日医工岐阜工場と中部電力ミライズは、今後も省エネルギーの取り組みを進めると共に、地域社会への啓蒙活動を通し脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

別紙：2016年から続く製薬工場全体での継続的な省エネルギーの取り組み

＜お問い合わせ先＞

日医工株式会社 経営企画部 広報グループ 076-442-7026
中部電力ミライズ株式会社 業務管理・支援本部 総務グループ 飯田・福谷 052-740-6854

2016年から続く製薬工場全体での継続的な省エネルギーの取り組み

1 事業者

日医工岐阜工場株式会社、中部電力ミライズ株式会社

2 対象事業所

日医工岐阜工場

3 概要

(1) 課題認識

日医工岐阜工場では、取り組み前はエネルギー消費量やCO₂排出量が年々増加しており、省エネ活動が求められていた。一方で製薬工場での省エネ活動は、医薬品の品質に影響が出ないように慎重に行う必要があるため、実施が難しいという課題を抱えていた。

(2) 実施内容

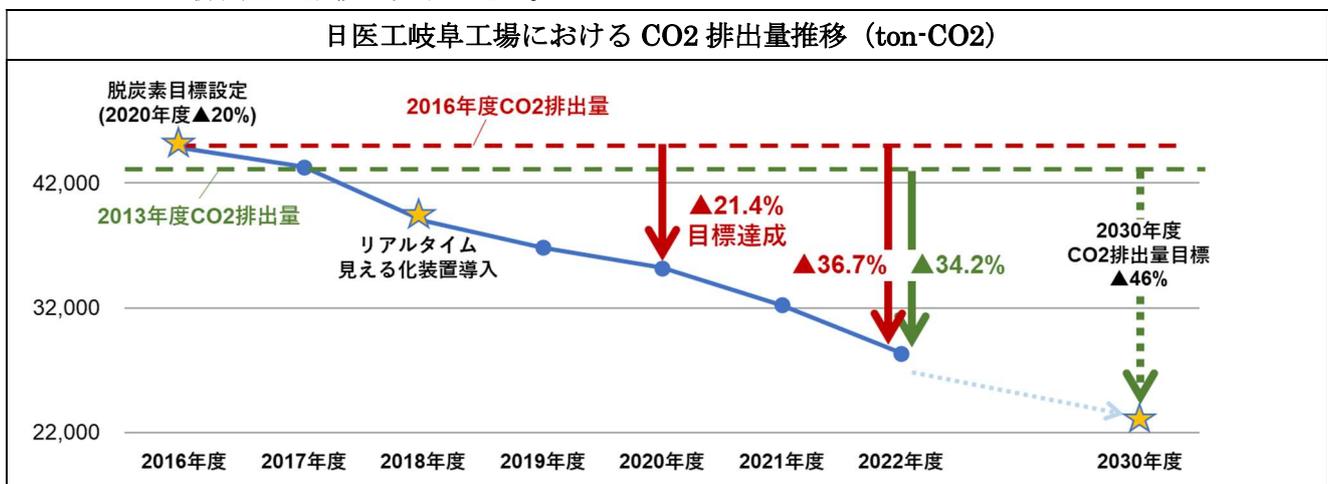
両社の役割を明確化し強みを活かすことで、計画的かつ医薬品の製造環境を維持した状態での省エネ目標^{*}の達成を目指した。

※2020年にCO₂排出量を2016年度比で▲20%

両社の役割と強み	
 NICHI-IKO	<ul style="list-style-type: none"> 工場運営における設備管理・運用管理 医薬品製造におけるノウハウを生かした省エネ施策の精査・検討・実施 各設備更新計画の策定及び稼働状況把握
 中部電力ミライズ	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー使用量や温湿度等の計測・分析 省エネに関する高い知見を活かした省エネ施策提案 省エネ施策実施による効果試算・確認

(3) 実施結果

- 電気やボイラー燃料の消費エネルギー量が削減され、CO₂換算値として2022年度には2016年度比▲36.7%の削減を達成した。
- CO₂排出量の推移は以下の通り。



以上

＜お問い合わせ先＞

日医工株式会社 経営企画部 広報グループ 076-442-7026
 中部電力ミライズ株式会社 業務管理・支援本部 総務グループ 飯田・福谷 052-740-6854